

令和5年度 第1回宇部市史編さん委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和5年5月16日(火) 16:00~17:00

宇部市役所3階 対話室

2 出席者

委員

脇 和也(委員長)、内田 鉄平(副委員長)、岩元 修一、安井 敬子

市

篠崎圭二(市長)、古林学(総合政策部長)、田中弓子(市史編さん室長)

福岡俊昭(市史編さん室)、石川健(同室)

3 議事

(1) 編さん体制について

(2) 編さんスケジュールについて

(3) 専門部会委員の人選について

4 別添資料

資料1 宇部市史編さん基本方針(案)

資料2 編さん体制のイメージ

資料3 市史編さん工程表

資料4 令和5年度市史編さん事業計画

5 会議要旨

開会

市長挨拶

委嘱状交付

事務局紹介

議事

(1) 編さん体制について

事務局

- ・武波委員の死去に伴う編さん委員の欠員における今後の方針について、委員に意見を求めた。
- ・昨年度2回目の委員会において決定された「宇部市史編さん基本方針」資料1について、以下の変更提案を行った。
 - ア 事業期間 について、「おおむね6年間」としていたものを「おおむね10年間」に変更
 - イ 「宇部市制100年の歴史」としていた市制100年を題材とした通史編と資料編の仮題を「宇部市制100年の歩み」とする。
 - ウ 編さん部会の記載の順番を「近現代部会」「旧楠町史 古代・中世部会」「旧楠町史 近世部会」の順に記載する。
- ・資料2により、今後の編さん体制について確認を行った。

| | |
|-------------------|--|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 武波委員の後任については、適任な方を追加で委嘱することが望ましい。各委員から推薦者があれば、事務局に伝え、次回の委員会で協議する。 ・ 宇部市史編さん基本方針の変更については、出席者全員が了承した。 |
| (2) 今後のスケジュールについて | |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3により、市史編さんの工程については、(1)「宇部市制100年の歩み」資料編 (2)「宇部市制100年の歩み」通史編 (3)「旧楠町史 通史編」の刊行順で編さん作業を行っていくこととし、その他おおまかな全体スケジュールを説明した。 ・ 資料4により、令和5年度の事業計画を、以下のとおり説明して意見を求めた。 <ol style="list-style-type: none"> 1 編さん委員会について、本年度は4回の開催を予定していること。 2 三部門の部会については、3～4名の部会員で構成され、編さん委員がその部会長を務めること。 3 資料調査の前段階としての予備調査を実施すること。 4 市史編さんに係る資料の提供を広く市民に呼び掛けること。 5 市史編さんへの協力依頼(特定分野に関しての情報提供など)をすること。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 脇委員長から、各部会の会長について以下のとおり提案された。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「近現代部会長」 脇和也 (2) 「旧楠町史 古代・中世部会長」 岩元修一 (3) 「旧楠町史 近世部会長」 内田鉄平 ・ 岩元・内田委員の了承の上、委員全員の賛成により決定した。 ・ 部会の委員については、各部会長から推薦者をあげてもらい、次回の委員会で議案として提出して決定したい。 ・ 部会員については、定員は設定せず、多様な分野の方から協力を得たい。 ・ 資料調査について、次年度以降の本調査について、調査員や文字翻刻のスタッフなど体制づくりの必要があるとの意見が出た。 ・ 資料収集については、文献資料だけでなく、多種多様なものを幅広く集めてほしい。 ・ 市民に分かりやすい市史にすべきである。 ・ 市史の内容として時代を前後するような読みにくさをなくしてストーリー性のある展開にしたい。 ・ 文化芸術や環境問題も取り上げたい。 |

| | |
|------------------------|---|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の予算の使途について質問があった。 ア 本年度の予算について、報償費が74万円あるとのことだが、その使途は何か。 イ 市民に向けた事業周知（広報）に関する事業に活用できないか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員の質問に対する回答 ア 市史編さん事業費の令和5年度予算は、市史編さん委員会と市制施行100周年記念絵本制作委員会の両委員会開催に係る報償費24万円と、市史編さんに係る文献資料調査謝礼金として50万円を計上している。 イ 予算としては計上していないが、市史編さん事業を市民に周知していくため、市広報の紙面に市史編さんの紹介コーナーを作ったり、資料収集について報道発表やチラシ配布など、工夫しながら事業及び進捗状況を随時発信していきたい。 |
| <p>(3) 専門部会の人選について</p> | |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・協委員長から岩元委員、内田委員に対して、各部会の委員の推薦者を事務局に報告するよう依頼があり、両委員が了承した。 ・委員の推薦に関しては以下のとおり質問があった。 ア 宇部市から遠隔地に居住する委員の推薦はできるか。 イ 自分が所属する部会員を推薦する形で進めるのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・委員の質問に対する回答 ア 遠隔地の委員については、執筆・調査に必要な人物であれば問題ない。 イ 基本的にはその形で進めていただきたい。 |
| 委員長 | <p>部会委員案が固まり次第、早急に第2回の委員会を開催することとした。</p> <p>以上で第1回宇部市史編さん委員会を閉会する。</p> |